

山形県

- ①パーゴラ
- ②椅子、展示棚

【概要・アピールポイント】

- ①子どもたちに木材と触れ合える機会を作り、オリンピックで使用した木材という事で木材への興味を一層引き出すもの。
- ②施設利用者に対しレガシーのPR、木材利用に対する理解促進を図る。

■ 資材提供のきっかけ

県産木材の提供とレガシーとしての利用を通じ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や持続的な木材利用についてのPRを行うため事業を実施することとなった。

■ 提供した木材の概要

・スギ

■ 用途

- ①パーゴラ 2 基
- ②椅子5脚、展示棚



■ 用途決定までのプロセス

オリンピックで使用した木材という事で木材への興味を一層引き出し、多くの市民の方々が木材と触れ合える機会を創出できるよう用途を決定した。

■ 完成/使用開始時期

- ①2022年4月 ②2022年11月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①東根市立ひがしねこども園、②東根市西部防災センター

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ①ZEB認証を受けた施設と、オリンピック木材の利活用により、ゼロカーボンシティを表明している当市の環境保護への取り組みを市民に周知するとともに、次世代を担う子どもたちが自然環境への興味をもつきっかけとなった。
- ②市民と連携して椅子等を制作することで持続可能な社会の実現に向けた意識の醸成を図ることができた。

問合せ先

森林ノミクス推進課
電話：023-630-2527

山形県

- ③スツール、ベンチ、子供用机、子供用椅子
- ④積み木
- ⑤施設内の木質化の資材

【概要・アピールポイント】

施設利用者に対しレガシーのPR、木材利用に対する理解促進を図る



■ 資材提供のきっかけ

県産木材の提供とレガシーとしての利用を通じ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や持続的な木材利用についてのPRを行うため事業を実施することとなった。

■ 提供した木材の概要

・スギ

■ 用途

- ③スツール、ベンチ、子供用机、子供用椅子を作製、施設内で利用
- ④積み木を作成し、施設内で展示
- ⑤施設内の木質化の資材として利用

■ 用途決定までのプロセス

木材利用拡大に向けた取り組みを進める中で、レガシー木材を利用することによるPRの騒擾効果を期待し、多くの施設利用者の方々が触れることができるよう検討を行った。

■ 完成/使用開始時期

③、④2022年10月 ⑤2022年12月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

③山形県県民の森 ④山形県源流の森 ⑤山形県眺海の森

■ 完成まで・完成後のエピソード

③スツールに加工し、令和4年10月9日開催の山形県県民の森来場者600万人達成記念イベント「秋まつり」にて、大抽選会を開催し、来場者に贈呈したところ喜ばれた。また、スツールは県民の森森林学習展示館でも展示している。

また、山形県立村山産業高校農業環境課3年生に依頼し、地域貢献活動の一環としてベンチ1脚、子供用机1台、子ども用椅子1脚を製作して頂いた。

成果物は、県民の森森林学習展示館の木育拠点施設で利用すると共に、製作過程についても、今後パネルを設置し紹介する。

④秋のイベントの一環で、積み木大会を実施した。オリンピックで使われた木材ということでお客さんの関心も高く、子どもたちや親子連れがとても楽しそうに参加していた。

⑤東京2020大会で使用した材と分かるように、なるべく加工を少なくしたが、違和感の少ないデザインとするのに苦労した。完成後は説明用のボードも設置することにより、レガシーを伝えていく。

問合せ先

森林ノミクス推進課

電話：023-630-2527

山形県

- ⑥ 木工室の作業台、切断補助台
- ⑦ 校舎の構造材（柱）
- ⑧ 子どもセンターの手洗い場の踏み台や玄関で靴を履く時の台座

【概要・アピールポイント】

- ⑥ 山形県立村山特別支援学校高等部木工班の生徒に、選手村で使われていた木材として紹介したところ、太く丈夫そうな木材に多くの生徒が興味を示し、大きい物を作りたいという話題になった。木工室で立って行う作業にちょうど良い高さの作業台がなかったので、高さのある作業台を作ることになった。「丸のこ盤」での切断の場面でも使いやすいように、高さを合わせることにした。
- ⑦、⑧ 施設利用者に対しレガシーのPR、木材利用に対する理解促進を図る。

■ 資材提供のきっかけ

県産木材の提供とレガシーとしての利用を通じ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や持続的な木材利用についてのPRを行うため事業を実施することとなった。

■ 提供した木材の概要

・スギ

■ 設置・使用箇所【用途】

- ⑥ 山形県立村山特別支援学校木工室 【作業台、切断補助台】
- ⑦ 山形県立米沢養護学校高等部就労コース校舎
【新校舎の構造材（柱）】
- ⑧ 上山市総合子どもセンター「めんごりあ」 【踏み台、台座】

■ 完成/使用開始時期

2022年3月から順次

■ 用途決定までのプロセス

木材利用拡大に向けた取り組みを進める中で、レガシー木材を利用することによるPRの騒擾効果を期待し、多くの施設利用者の方々が触れることができるよう検討を行った。

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ⑥ 作業学習の中で、使いやすい作業台を生徒たち自身の手で製作するため、その材料として利用した。これまで作業学習で扱ったどの木材よりも大きく、生徒たちは初めて金具を使った接合を経験することができた。また、固定のときに材料を押さえるなど、協力し合って製作することができた。完成後は、やすり掛けや組み立ての他、丸のこ盤で切断補助台としてや電動工具のバッテリーの充電場所としても便利に使っている。
- ⑦ 生徒や来校者に大会のレガシーを実感してもらうとともに、木の温もりや木材資源の再利用の重要性を感じてもらうことを意図に環境整備を進めた。
そのため、レガシー木材を構造材として利用し、日常生活で見える形に仕上げることで、開放感と落ち着いた居心地の良さを両立させた。
- ⑧ 次世代を担う子供たちが、自然環境へ興味を持つきっかけになればと考え、木材を利用し、園内にパーゴラを作成した。
大会レガシーのPRと持続可能な社会の実現に向けた意識の向上を図るため、東根青年会議所の協力のもと市民参加による木工体験会を行い、棚とベンチを作成した。
作成した棚等は、施設内で利用し引き続き大会レガシーとして活用していく。

問合せ先

森林ノミクス推進課

電話：023-630-2527

⑥ 山形県立村山特別支援学校木工室【木工室の作業台、切断補助台】



⑦ 山形県立米沢養護学校高等部就労コース校舎【新校舎の構造材(柱)】



⑧ 上山市総合子どもセンター「めんごりあ」【子どもセンターの手洗い場の踏み台、玄関で靴を履く時の台座】



山形県

- ⑨ 役場玄関のベンチ
- ⑩ 学校内のテーブル
- ⑪ 自然の家のテント用パレット
- ⑫ 大学の校舎の内装材

【概要・アピールポイント】

⑨～⑫ 施設利用者に対しレガシーのPR、木材利用に対する理解促進を図る。

■ 資材提供のきっかけ

県産木材の提供とレガシーとしての利用を通じ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や持続的な木材利用についてのPRを行うため事業を実施することとなった。

■ 提供した木材の概要

・スギ

■ 設置・使用箇所【用途】

- ⑨ 町有施設（真室川 役場 正面玄関 等）【ベンチ】
- ⑩ 山形県立朝日学園【テーブル】
- ⑪ 山形県朝日少年自然の家【パレット】
- ⑫ 山形県立東北農林専門職大学【校舎の内装材】

■ 完成/使用開始時期

2022年3月から順次

■ 用途決定までのプロセス

木材利用拡大に向けた取り組みを進める中で、レガシー木材を利用することによるPRの騒擾効果を期待し、多くの施設利用者の方々が触れることができるよう検討を行った。

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ⑨ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村ビレッジプラザで使用された山形県産木材を活用し、森林や自然への愛着を深めることを目的に、木製ベンチを製作し、役場前バス停に設置したほか、今後、町内の公共施設に設置を予定している。
- ⑩ 大会レガシーとしての木材再利用を通して、児童が木材や自然に興味を持つきっかけとなるよう、令和6年1月に完成した朝日学園新本館の食堂で、児童が食事の際に使用する机として使用している。
- ⑪ レガシー木材で施設のテントサイトにあるパレットを作成しました。利用者からもその場に実際にテントを建ててもらい、オリンピックで使用した木材を肌で感じてもらい、また興味を持つきっかけとなっていたきたい。
今後は、施設内の遊具の修繕等で活用していく。
- ⑫ 東北農林専門職大学校舎の内装材として、大講義室の木積み壁に利用している。

問合せ先

森林ノミクス推進課

電話：023-630-2527

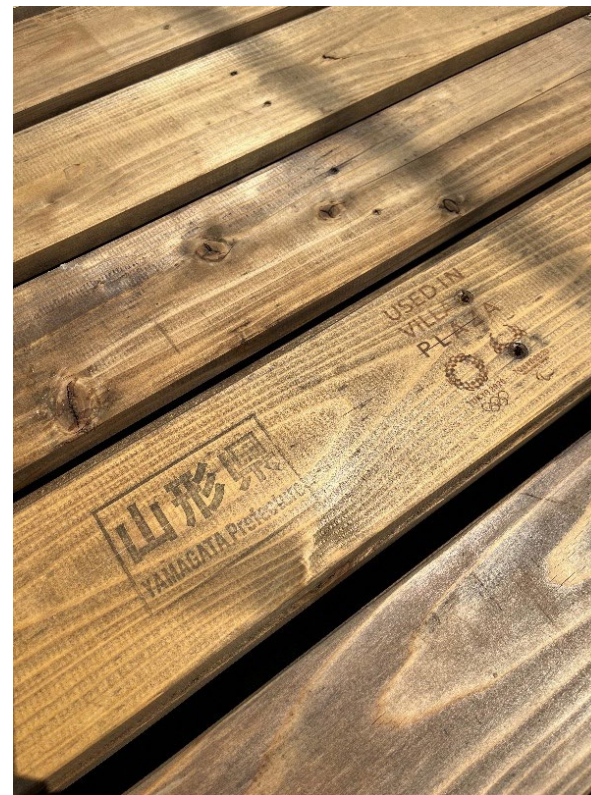
⑨ 町有施設(真室川 役場 正面玄関 等)【役場玄関のベンチ】



⑩ 山形県立朝日学園【テーブル】



⑪ 山形県朝日少年自然の家【テント用パレット】



⑫ 山形県立東北農林専門職大学【校舎の内装材】

